



令和4、5年

別海町成人式の開催と 実行委員の募集について

令和4、5年の別海町成人式を次のとおり開催します。
本町に住民登録をしていない方で出席を希望される方は、事前に下記申込み先までお知らせください。

令和4年(第75回)別海町成人式

- 日時 12月25日(日) 午後1時30分
- 場所 生涯学習センターみなく
- 対象 平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた方
本町に住民登録をされている方は、11月中旬に生涯学習課から案内を送付する予定です。

令和5年(第76回)別海町成人式

- 日時 令和5年1月7日(土) 午後1時30分
- 場所 生涯学習センターみなく
- 対象 平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた方
本町に住民登録をされている方は、12月上旬に生涯学習課から案内を送付する予定です。

式典は新型コロナウイルス感染症予防に配慮して開催しますが、管内・町内の感染状況などにより延期となる場合があります事を、あらかじめご了承ください。

成人式実行委員の募集について

成人式実行委員を募集します。

成人式という人生の節目がより思い出深いものになるよう、仲間たちと交流企画などの発案と運営をしてみませんか。

- 対象 第75回または第76回成人式に参加される方

- 活動期間 9月から令和5年2月ごろまで

- 応募締切 8月31日(水)



申込み・問合せ／生涯学習課(生涯学習センター内) TEL75-2146

令和4年度

「別海町文化功労者表彰」 「別海町スポーツ功労者表彰」 推薦について

文化功労者表彰基準 【推薦締切 9月30日(金)】

- 別海町文化功労賞
 - 本町の芸術、科学、教育などの分野の発展に貢献し、その功績が特に顕著な個人または団体
- 別海町文化奨励賞
 - 本町の芸術、科学、教育などの分野の発展に貢献し、その功績が顕著であり、今後の活動が特に期待される個人または団体
 - 全道規模以上の発表会などにおいて、優秀な成績を収めた個人または団体

問合せ／文化功労者表彰

生涯学習課(生涯学習センター内) TEL75-2146

スポーツ功労者表彰

学務・スポーツ課 スポーツ推進担当

TEL75-2111 (内線3511)

生涯学習課、学務・スポーツ課から

本町では、芸術や科学、スポーツなどの教育分野における功労者表彰候補者の推薦を募集しています。

それぞれ、大会の規模などに応じた表彰基準がありますので、詳しくは下記担当までお問い合わせください。

スポーツ功労者表彰基準 【推薦締切 10月7日(金)】

■別海町スポーツ功労者賞

- 地域や職場においてスポーツの健全な普及発展に貢献し、優れた企画や指導の実践を重ねるなど、スポーツ振興の功績が顕著である個人または団体
※個人は10年以上、団体は20年以上町内で活動している方が対象です。

■別海町優秀選手賞

- 令和3年10月1日から令和4年9月30日までの期間に、中体連、高体連、学生体育連合、JOC加盟団体などが主催する大会に出場し、優秀な成績を収めた個人または団体

※町内に住所を有し、居住している方または町内の小学校や中学校に5年以上在籍していた方が対象です。

本年度の小・中学校の標準学力調査の結果について

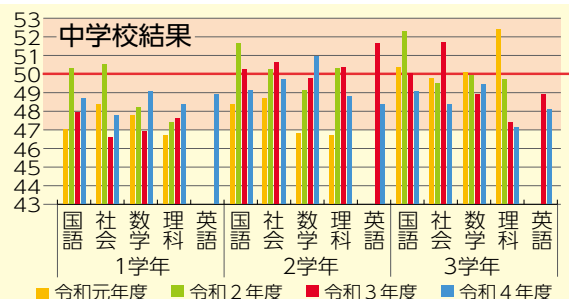
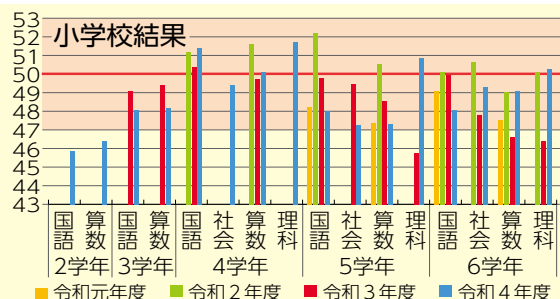
本町では、国が実施している「全国学力学習状況調査」に加え、町内児童生徒の達成状況を確認する「標準学力調査」を独自に実施しています。本年度の結果をお知らせします。

■調査の概要について

- 実施日 4月11日、12日 ■実施学年 町内全小学校第2学年から中学校第3学年
- 実施教科 小学校（第2、3学年）国語、算数
（第4、5、6学年）国語、社会、算数、理科
中学校（第1、2、3学年）国語、社会、数学、理科、英語
- 内 容 前年度学習した範囲（例）小学校第6学年であれば、前年度第5学年の学習内容
- 目 的 児童生徒の学力向上を図るため、授業方法の改善や学習方法の改善に役立てる。
- 留 意 点 ①調査結果は「学力」の一部であり、学校における教育活動の一側面であることに留意すること。
②全国の平均正答率との比較により、序列化や過度の競争をあおることのないよう留意すること。

■本年度の結果 ■同一集団の令和3年度の結果（例）第6学年であれば第5学年時の結果
■同一集団の令和2年度の結果（例）第6学年であれば第4学年時の結果
■同一集団の令和元年度の結果（例）第6学年であれば第3学年時の結果

全国平均——を50としたときの、町内小中学校の各教科平均値



■本町の概要

本年度の結果から、本町の児童生徒の学力は、小学校第3学年以上において、全学年・全教科で全国平均並み（全国平均値±3ポイント以内）であることが分かりました。また、小学校低学年から中学年にかけては、学年を追うごとに学力の定着率が伸びています。しかしながら、小学校高学年以降、横ばいもしくは下降傾向が見られることも明らかに became ました。

一方、小学校高学年の同一集団における対前年度比では、特に理科の上昇傾向が顕著であったほか、第6学年が4教科中3教科で昨年度に比べて上昇したことなどの良い傾向も見られました。

問題別の傾向では「基礎」と「活用」の正答率のバランスがとれていました。「活用」の問題は全国的に低い傾向にありますが、本町の子どもたちは昨年に引き続き「基礎」と同等に「活用」の問題に取り組む力が付いていることが分かりました。「記述」の問題については、一部改善傾向が見られるものの、更なる対応が必要である実態が、明らかになっています。

■今後に向けて

「令和の日本型学校教育」で示されている「個別最適な学び」と「協働的な学び」の授業構築に向けて、各校における改善の取り組みや、別海町教育研究協議会における町内全教職員による研究活動を継続し、子どもたちのよりよい学びにつなげていきます。また、本町で重視している「学びの土台づくり」としての「読書活動」や「別海町新聞の日」の取り組みを通じて、読解力の向上を図ります。

さらに、子どもたちが「ふるさとべつかい」に学び、自らの人生を創造する力を育む「ふるさとキャリア教育」を推進するために、先進地である秋田県大館市へ本町教員を派遣する教育視察を2年計画で実施します。本年度は、7月上旬に8校の代表の教員による視察を実施し、現在その成果普及に向けて準備を進めています。

■「主体的」に学ぶ子どもたちを育成するために

国が推進しているGIGAスクール構想に基づき、本町においても昨年度後期から、学習者用タブレット端末の家庭への持ち帰りを実施しています。各ご家庭におかれては、趣旨にご理解いただき、Wi-Fi環境の整備などのご協力をいただいていることに感謝申し上げます。子どもたちがより主体的な学びを実現するために、本町の児童生徒は、家庭学習などの自学に取り組みやすい「タブレットドリル」や、より主体的に学ぶことのできる環境を整えるために「どうしん記事データベース まなbell」などのデジタル教材を使えるようになっています。

学力の定着や向上を図るためには、学校における学びはもちろんのこと、家庭においてその学びを自らのものにするための時間が重要です。各校では子どもたちの家庭学習の意欲化を図るための取り組みを行っていますが、ぜひご家庭においても家庭学習の意義についてご理解いただき、子どもたちの主体的な学びを応援いただければ幸いです。